

第4回八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議 説明資料

事業名	子どものスポーツ機会促進事業
担当課	スポーツ振興課
目的	・ 児童のスポーツをする機会の拡充やスポーツ種目の選択肢の拡大
事業内容	・ 八戸圏域連携中枢都市圏内の各市町村で活動するスポーツ団体の情報をホームページで公開
現状と課題	・ 地域展開等、子どもたちのスポーツ環境の変化 ・ 学校や地域等において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる環境の整備

第4回八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議 説明資料

事業名	三社大祭解説書（副読本）の作成・配付
担当課	社会教育課
目的	・ユネスコ無形文化遺産である八戸三社大祭の周知活動を通じて文化財の恒久的な保護を図る。 ・八戸三社大祭の将来の担い手である子ども達の興味関心を醸成し継承を支援する。
事業内容	・小学校の授業で利用できる三社大祭解説書（副読本）を作成・配付。 ・配付対象は社会科で地域の伝統行事を学ぶ市内小学校 4 年生全員（一部の小学校では 3 年生や 5 年生）。また全校児童が活用できるよう PDF データでも配付。
現状と課題	・市内各小学校の授業に可能なかたちで取り入れられている。 ・平成 29 年度の初版から大きな改訂はしておらず山車の写真等が古くなっているため、山車組関係者から改訂して欲しいとの意見が出ている。

第4回八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議 説明資料

事業名	民俗芸能の夕べ開催事業
担当課	社会教育課
目的	・ 民俗芸能団体の活性化及び後継者養成を図る。 ・ 市民の民俗芸能に対する理解と関心を喚起することにより、民俗芸能の保存と伝承を図る。
事業内容	・ 第 48 回民俗芸能の夕べ兼北緯 40° ナニャトヤラ連邦郷土芸能交流祭を令和 7 年 12 月 6 日（土）に開催。 ・ 市内の民俗芸能団体 4 団体及び三圏域（八戸圏域、二戸圏域、久慈圏域）各 1 団体が出演。 ・ 映像記録制作を委託により実施。
現状と課題	・ 来場者からは概ね好評を得ている。生解説も好評。 ・ より多くの市民に見てもらうため動画配信を検討中。特に子どもの出演者が特定されないようにする必要があり課題。

第4回八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議 説明資料

事業名	学校施設開放予約システム等導入事業
担当課	教育総務課
目的	・ 事務手続きのデジタル化 ・ 教頭の事務負担ゼロ！ ・ 利用者の利便性向上 & 施設利用率の向上
事業内容	・ 施設予約システムの開発と導入 ・ スマートキーボックスの設置 ・ 学校施設開放事業運営体制の見直し、規則等の整備
現状と課題	・ 利用申込や受付、鍵の受渡しや返却において、利用する側・管理する側、共に負担となっている。 ・ 通年での利用予約のため、年度途中の参入が難しい。 ・ 市の事業でありながら各学校が施設開放事業の運営を行う規則となっている。

第4回八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議 説明資料

事業名	高校生による地元企業魅力発見体験事業	
担当課	産業労政課	
目的	地域の次世代を担っていく高校生が地域の産業や地元企業の魅力について調査し、情報発信することを通じて、地元企業や八戸で働くことの良さを認識してもらうことにより、地元企業における人材確保や当市への人材定着を図る。	
事業内容	市内高等学校生徒による地元企業等の魅力調査及び成果発表会の実施 《参加者》 市内高等学校に通学する生徒 8グループ程度（1グループ3～4人） 《調査対象》 市内に事業所を構えている企業 16社程度 《令和7年度の実施予定》	
	7/25	事前勉強会実施（生徒のみ）
	7/28	キックオフミーティング実施（生徒・企業）
	7/30・7/31	調査活動に向けた勉強会実施（生徒のみ）
	8/4～8/20	調査活動実施（生徒による企業への訪問・取材）
	12/26	成果発表会ミーティング実施（生徒のみ）
	1/25	成果発表会実施（生徒・企業）
	※事業終了後、活動状況の様子がわかる記事と写真を掲載した魅力発信資料「e-book」を作成し、専用ホームページで公開するとともに、地元紙紙面に採録記事を掲載	
現状と課題	事業初年度の令和5年度が参加高校生20名（4校6グループ）、協力企業16社、6年度が43名（8校13グループ）、26社と事業の認知が進んできているが、事業継続にあたっては、新たな協力企業の確保と、魅力発信資料の活用促進を図っていく必要がある。	

第4回八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議 説明資料

事業名	はちのへ企業魅力発信×発見フェア														
担当課	産業労政課														
目的	市内の高等学校の生徒及び大学等の学生の市内企業の認知度を向上させるため、市内企業のPR活動をする機会を設けるもの。														
事業内容	市内企業が持つ技術や製品を間近で見たり触れたり、製作体験等を通じて企業のことをより分かりやすく知ることができる展示会とすることで、生徒や学生が就職活動を考える上で明確な企業イメージを持てるようにする。 あわせて、就職や進路の相談・助言を求められる保護者や教職員にも市内企業に関する情報等を収集することができるものにする。 (1)企業によるPRブース・仕事体験や製作体験ブースの 出展 (2)就職等に関するトークセッションの開催 (3)保護者を対象としたセミナーの開催 等														
現状と課題	・令和7年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況 (令和7年4月末現在(青森労働局公表)) <table border="1"> <tr> <td>(1)卒業予定者数</td><td>9,743人</td></tr> <tr> <td>(2)(1)のうち就職希望者数</td><td>1,812人(過去最少)</td></tr> <tr> <td>(3)(2)のうち県内就職希望者</td><td>1,027人</td></tr> <tr> <td>(4)県内求人数</td><td>4,611人</td></tr> <tr> <td>(5)就職者数</td><td>1,796人</td></tr> <tr> <td>(6)(5)のうち県内就職者</td><td>1,014人</td></tr> <tr> <td>(7)(5)のうち県外就職者</td><td>782人</td></tr> </table> ・就職希望者 18.6%((2)/(1)) ・県内求人倍率 4.49倍((4)/(3)) (過去2番目の高さ) ・就職率 99.1%((5)/(2)) ・県内就職率 56.5%((6)/(5))	(1)卒業予定者数	9,743人	(2)(1)のうち就職希望者数	1,812人(過去最少)	(3)(2)のうち県内就職希望者	1,027人	(4)県内求人数	4,611人	(5)就職者数	1,796人	(6)(5)のうち県内就職者	1,014人	(7)(5)のうち県外就職者	782人
(1)卒業予定者数	9,743人														
(2)(1)のうち就職希望者数	1,812人(過去最少)														
(3)(2)のうち県内就職希望者	1,027人														
(4)県内求人数	4,611人														
(5)就職者数	1,796人														
(6)(5)のうち県内就職者	1,014人														
(7)(5)のうち県外就職者	782人														

第4回八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議 説明資料

事業名	八戸若者力形成インターンシップ事業
担当課	政策推進課、産業労政課
目的	インターンシップの実施を希望する地元企業及び参加者に対して、コーディネーターを配置し、伴走支援を行う、長期実践型のインターンシップを実施することで、若者が地元企業を知る機会を創出するとともに、地元企業における採用活動の強化に向けた取組を支援すること
事業内容	◆長期実践型インターンシッププログラムの企画 ①対象者 八戸市内の企業で就職することを検討又は八戸市内の企業に興味関心がある学生等。 ②実施期間 8月～9月の内、概ね3～4週間程度。 ③実施内容 ア 参加者が長期間八戸市内に滞在し、特定の市内企業で一定期間の職業体験や八戸の企業の魅力を知るための活動を行う イ 受入企業の課題をヒヤリングし、受入企業と学生等が連携・交流し、企業の課題解決を図る ウ 受入企業における各プログラムについて体験談などをまとめたレポートを参加者に作成させ、それを報告する
現状と課題	【現状】 ・受入企業 3社 ・参加学生 10名以内 ・実施期間 8月中旬から3週間程度 ・報告会 9月14日(日) 場所：はっち